

青野祐也先生（医学科3 2期）アンケートご回答

質問1 受賞の喜びをお聞かせください。

この度は歴史ある浜松医科大学同窓会松門会学術奨励賞に選出いただきまして大変光栄に思います。ご指導いただきました本学第二内科鈴木勇三先生、須田教授、ならびに選考委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

質問2 いつ頃からどのようなきっかけで今回のテーマに取り組まれたのでしょうか。

大学院生として当初は専ら病棟業務に従事していましたが、帰局しておよそ1年経過した2018年2月ごろから須田先生・鈴木勇三先生にテーマを頂き基礎研究を開始しました。

質問3 今回の研究でご苦労された点はなんでしょうか。

研究の内容でいえば、マウスの樹状細胞とT細胞との共培養実験に時間がかかりました。培養や目的とする細胞の **sorting** には時間がかかるため1回の実験が長時間に及ぶことや、培養条件の設定などに苦労しました。

大学院生活という観点では、コロナ禍ということで、呼吸器内科としての臨床業務と基礎研究の両立が大変でした。

質問4 近況をお聞かせください。

現在は聖隷浜松病院で臨床医として勤務しております。臨床業務に忙殺されており、学術的な活動を行う余裕がありませんが、将来的には後進の指導など含めて活動したいと考えています。

質問5 今後の課題についてお聞かせください。

喘息をテーマとしていますが、喘息には今回ターゲットとした獲得免疫系の他に、自然リンパ球（ILC2）が関与する自然免疫系が関与することが知られています。今後は喘息における ILC2 と CD109 分子の関連を研究していきます。

質問6 今後の同窓会に望むことをお聞かせください。

今回の奨励賞受賞はおおいに励みとなりましたので、是非継続をお願いしたく存じます。浜松医科大学同窓会のさらなる発展を心より祈念しております。